

京都大学教職課程 履修カルテ（単位修得状況）

農 学 部（平成10年改正教育職員免許法【旧法】適用者）

| | | | | | |
|--|-------|----|----|-----|-----|
| 所属： | 入学年度： | | | | |
| 学生番号： | 氏名： | | | | |
| 大学院生・科目等は出身学部： | 大学 | 学部 | 学科 | 年入学 | 年卒業 |
| 取得希望免許： <input type="checkbox"/> 中学校教諭一種・理科 <input type="checkbox"/> 高等学校教諭一種・理科 / 農業 / 水産 | | | | | |

- 教員免許を取得するには、所属学部の教務掛において「単位修得状況調 A 票」と免許取得希望教科に対応する「単位修得状況調 B 票」を入手し、修得年度と単位小計を書きこみつつ、必要な単位がそろうように履修すること（科目名変更が行われた場合は、「備考」欄に書き込むこと）。
- 免許申請に際し、所属学部の教務掛に「学力に関する証明書」の発行を依頼する場合、または「教育職員免許状授与一括申請願」を提出する場合は、「履修カルテ（単位修得状況）」（「単位修得状況調 A 票・B 票」を含む）を添付して申し込むこと。

【確認事項】 ※達成できた項目の□を■に変えること。該当しない項目は取り消し線で消すこと。

1. 下記の単位を修得したか（別表第1備考4号確認）。

- 「日本国憲法」2単位以上
 - 「体育（運動科学、体力医科学、24年度以降修得の健康科学、運動医科学、27年度以降修得の運動科学Ⅰ、運動科学Ⅱ、健康科学Ⅰ、健康科学Ⅱ、健康心理学Ⅰ、健康心理学Ⅱ）」2単位以上
 - 「体育（スポーツ実習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB）」1単位以上
 - 「外国語コミュニケーション」2単位以上（科目によっては、1科目1単位の場合があるので、注意すること）
 - 「情報機器の操作」^(注1) 2単位以上（科目によっては、1科目1単位の場合があるので、注意すること）
- (注1) 「情報機器の操作」に該当する具体的な科目名については、掲示で確認すること。

2. 教育実習・介護等体験について、下記の条件を満たしているか。

- （中学校教諭一種免許取得希望の場合）「介護等体験（特別支援学校・2日間）」を終了した。
 - （中学校教諭一種免許取得希望の場合）「介護等体験（社会福祉施設等・5日間）」を終了した。
 - 教育実習Ⅰ・Ⅱの履修に際し、教育実習オリエンテーションに参加した^(注2)。
 - 教育実習Ⅰ・Ⅱの履修に際し、教科別の事前指導・事後指導に参加した^(注2)。
- (注2) 2年度に分けて教育実習に行く場合は、2年度とも参加すること。

3. 「教職に関する科目」について、下記の条件を満たしているか。

- 当該教科教育法についてはⅠ・Ⅱとも修得した（地理歴史科・公民科・商業科・工業科・農業科・水産科を除く）。
 - ☆印の付された必修科目を漏れなく修得した。
 - （中学校教諭一種免許取得希望の場合）「道徳教育論」と「教育実習Ⅰ」を修得した。
 - 選択必修科目を漏れなく修得した。
 - （中学校教諭一種免許取得希望の場合）「教職に関する科目」37単位以上を修得した^(注3)。
 - （高等学校教諭一種免許取得希望の場合）「教職に関する科目」33単位以上（地理歴史科・公民科・商業科・工業科・農業科・水産科・情報科の場合は29単位以上）を修得した^(注3)。
- (注3) 教科教育法については、当該教科の免許取得に際してのみカウントされる（他教科の免許取得に際してはカウントされない）ので、注意すること。

4. 「教科に関する科目」について、下記の条件を満たしているか。

- ☆印の付された必修科目を漏れなく修得した。
- 選択必修科目を漏れなく修得した。
- 「教科に関する科目」20単位以上を修得した。

5. 修得単位数の合計について、下記の条件を満たしているか。

- 「教職に関する科目」と「教科に関する科目」を合わせて59単位以上修得した^(注4)。
- (注4) 教科教育法については、当該教科の免許取得に際してのみカウントされる（他教科の免許取得に際してはカウントされない）ので、注意すること。

京都大学教職課程 単位修得状況調A票(農学部 資源生物科学科、応用生命科学科、 地域環境工学科、食料・環境経済学科、森林科学科、食品生物科学科)

注1:※の箇所に記入して下さい。

注2:申請年度後期履修中の科目は年度に()

| ※入 学 年 学籍種別(○印) | ※ ふりがな 氏 名 | 免許状の種類 | 教 科 | | |
|------------------------|--|--|---|--------------|--|
| 年入学 年卒業(見込) | | 高一種免 | 農 業 | | |
| 学部・修士・博士 科目等履修生 | 年 月 日生 | <input type="checkbox"/> 「日本国憲法」2単位以上 <input type="checkbox"/> 「外国語コミュニケーション」2単位以上 <input type="checkbox"/> 「情報機器の操作」2単位以上 <input type="checkbox"/> 「体育」運動科学等 2単位以上、 <input type="checkbox"/> 「体育」スポーツ実習ⅠA等 1単位以上 | | | |
| 免許法施行規則に定める科目区分等 | | ※ | ※ | | |
| 区 分 | 各科目に含める必要事項 | 単位小計 | 修得年度 | | |
| | | 授業科目名(☆印は必修) H30(2018)年度以降 | 授業科目名(☆印は必修) H29年度以前 | | |
| 教 職 関 係 科 目 | 教職の意義等に関する科目 | ☆教職教育論 教職教育 | ☆教職教育論 教職教育 | 2 2 | 必修 選択科目 |
| | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 | 教育原理Ⅰ | 比較教育学概論Ⅰ／比較教育学 | 2 | 1科目選択必修 |
| | | 教育原理Ⅱ | 教育学概論Ⅰ | 2 | |
| | | 教育人間学概論Ⅰ | 教育人間学概論Ⅰ | 2 | |
| | | 教育人間学概論Ⅱ | | 2 | |
| | | 教育心理学Ⅰ(教育・学校心理学) | 教育心理学Ⅰ | 2 | |
| | 教育の基礎理論に関する科目 | 教育心理学Ⅱ(教育・学校心理学) | 教育心理学Ⅱ | 2 | 1科目選択必修 <small>(H30年度以前の修得単位に限る)</small> |
| | | 教育心理学Ⅲ(障害者・障害児心理学) | 教育心理学Ⅲ | 2 | |
| | | 教育心理学概論Ⅰ | 教育心理学概論Ⅰ | 2 | |
| | | 教育心理学概論Ⅱ(学習・言語心理学) | 教育心理学概論Ⅱ | 2 | |
| | | 発達科学論(発達心理学) | 発達教育論Ⅰ | 2 | |
| | | | 発達教育論Ⅱ* | 2 | |
| | | | 比較教育学概論Ⅱ／比較教育制度論 | 2 | |
| | 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 | 比較教育学概論Ⅰ | | 2 | 1科目選択必修 |
| | | 教育社会学概論Ⅰ | 教育社会学概論Ⅰ | 2 | |
| | | 教育社会学概論Ⅱ | | 2 | |
| | | 教育行政学概論Ⅰ | 教育行政学概論Ⅰ | 2 | |
| | | 教育行政学概論Ⅱ | 教育行政学概論Ⅱ | 2 | |
| | | | 教育学概論Ⅱ | 2 | |
| | | 民族と教育 | 民族と教育 | 2 | |
| 人権教育論 | 同和・人権教育論 | 2 | 専門科目として修得 <small>(全共科目履修分は不可) 選択科目</small> | | |
| 教育課程及び指導法に関する科目 | 教育課程の意義及び編成の方法 | ☆教育課程論 | 教育課程論Ⅰ 教育課程論Ⅱ | 2 2 | 1科目選択必修 |
| | 各教科の指導法 | ☆農業科教育法 | ☆農業科教育法 | 4 | 必修 |
| | 特別活動の指導法 | ☆特別活動の理論と実践 | ☆特別活動の理論と実践 | 2 | 必修 |
| | | | 特別活動論Ⅰ(教育社会学概論Ⅱ) 特別活動論Ⅱ(教育人間学概論Ⅱ) | 2 2 | 選択科目 選択科目 |
| | 教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)の理論及び方法 | ☆教育方法論 | ☆教育方法論 | 2 | 必修 |
| | | 授業心理学Ⅰ | 授業心理学Ⅰ | 2 | 選択科目(H30年度以前の修得単位に限る) |
| | | 授業心理学Ⅱ | 授業心理学Ⅱ | 2 | 選択科目(H30年度以前の修得単位に限る) |
| | | 教育の方法と技術Ⅰ 教育の方法と技術Ⅱ | | 2 2 | 選択科目(H31年度以降の修得単位に限る) 選択科目(H31年度以降の修得単位に限る) |
| 生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目 | 生徒指導の理論及び方法 | ☆生徒指導論 | ☆生徒指導論 | 2 | 必修 |
| | 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) | 臨床心理学概論Ⅰ | 臨床心理学概論Ⅰ | 2 | 選択科目(H30年度以前の修得単位に限る) |
| | | 臨床心理学概論Ⅱ(心理学的支援法) | 臨床心理学概論Ⅱ | 2 | 選択科目(H30年度以前の修得単位に限る) |
| | | ☆教育相談(教育・学校心理学) | ☆教育相談 | 2 | 必修 |
| | | 人格心理学概論Ⅰ 人格心理学概論Ⅱ | 2 2 | 選択科目 選択科目 | |
| 進路指導の理論及び方法 | ☆生徒指導の精神と具体的方策 | ☆生徒指導の精神と具体的方策 | 2 | 必修 | |
| 教育実習 | 教育実習 | ☆教育実習Ⅰ | ☆教育実習Ⅰ | 2 | 中学必修(選択科目) |
| | | ☆教育実習Ⅱ | ☆教育実習Ⅱ | 3 | 必修 |
| 教職実践演習 | 教職実践演習(平成22年度以降入学者)／ 総合演習(平成12-21年度入学者) | ☆教職実践演習 | ☆教職実践演習／ ☆教職総合演習 | 2 | 必修 |
| 計 | | 単位 | | | |

* 特別支援学校教諭認定科目と重複カウント不可

京都大学教職課程 単位修得状況調B票(農学部 食料・環境経済学科)

注1:※の箇所に入力して下さい。

注2:申請年度後期履修中の科目は年度に()

| | 免許法施行規則の科目名 | ※単位小計 | 授業科目名(☆印は必須) | 単位数 | ※修得年度 | 備考 |
|--------------------------------------|-------------|-------|--------------|-----|-------|----|
| 教 科 に 関 す る 科 目 | 農業の関係科目 | | ☆農学概論Ⅰ | 2 | | |
| | | | ☆農学概論Ⅱ | 2 | | |
| | | | 食料・環境経済学概論Ⅰ | 2 | | |
| | | | 農業発展論 | 2 | | |
| | | | 農業食料組織経営学 | 2 | | |
| | | | 農業経営情報会計学 | 2 | | |
| | | | 資源環境経済学 | 2 | | |
| | | | 食料・環境政策学 | 2 | | |
| | | | 森林政策学 | 2 | | |
| | | | 国際農村発展論 | 2 | | |
| | | | 農業・農村史 | 2 | | |
| | | | 農学原論 | 2 | | |
| | | | 農企業問題特論 | 2 | | |
| | | | アグロフードシステム論 | 2 | | |
| | | | 農業資金会計論 | 2 | | |
| | | | 農林統計学 | 2 | | |
| | | | 食料経済論 | 2 | | |
| | | | 農村社会学 | 2 | | |
| | | | 作物学Ⅰ | 2 | | |
| | | | 植物栄養学 | 2 | | |
| | | | 農村計画学 | 2 | | |
| | | | 国土・地域計画 | 2 | | |
| | | | 水資源利用学 | 2 | | |
| | | | 土壌学Ⅰ | 2 | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 職業指導 | | | ☆職業指導 | 4 | | |
| 計 | | | | | | 単位 |